

策定年月	令和7年4月
見直し年月	令和〇年〇月

麦・大豆国産化プラン

産地名：坂井市坂井町木部地区

（作成主体：きらめきの郷生産組合）

1. 麦・大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

きらめきの郷生産組合は、坂井市坂井町木部地区において水田経営を中心に行っている経営体であり、地域計画に位置付けられる任意団体である。

現在、麦・大豆の生産を行っているものの、近年の国際情勢の変化等による麦・大豆の安定供給に対するニーズの高まりから国産麦・大豆の需要が増加している現状を踏まえ、麦・大豆の生産量を向上させることを目的とする。

坂井市における麦・大豆の生産についての近況は、作付面積は横ばいで推移しており、単収は低下傾向である。きらめきの郷生産組合においても単収の低調さを課題としており、加えて異常気象環境での対応や組合員の高齢化による体制改善を余儀なくされている。

この課題に対して、作業環境を改善する機械の導入や排水対策・適期作業を徹底するなどの取り組みを通じて、単収力の向上と安定的な生産体制の構築を目指し、以下の方針で取り組む。

①需要に応じた生産と販売の実現

大豆については実需者の国産大豆への需要に応じた生産を確保するため、大豆栽培に適した大麦跡の周年作付を中心に作付面積を拡大し、排水対策や病害虫対策等の徹底を図るとともに、「里のほほえみ」の特性に応じた栽培指導を徹底し、収量・品質の向上に努める。

②団地化の推進

地域計画や坂井市集団転作推進事業による農地の集積の推進と連携しつつ、麦・大豆の団地化に向けた話し合いを実施し、土壌・排水条件・作業の効率化等に配慮した団地化に向けた計画を産地において作成する。

③排水改良

排水の改善に向けては、経営所得安定対策事業の産地交付金によってサブソイラーによる暗渠排水の設置・更新等を推進するとともに、トレンチャーによる排水対策を進める。

④高性能機械の導入支援

麦・大豆生産性向上事業を活用し、必要な経営体に高性能機械を導入。適期作業による収量の向上を支援する。

※ 麦・大豆生産における課題(湿害対策、適期播種、土づくり、連作障害対策等の必要性等)を具体的に記載すること。

※ 課題解決に向けて取り組む内容及び今後の生産拡大に向けた方針を具体的に記載すること。

2. 産地と実需者との連携方針

大豆については、「里のほほえみ」をJA福井県経済連が集荷し、マルサンアイ(株)ほかへ販売しているが、近年の作柄の不安定さを原因として、安定供給が達成できていないことから、生産体制の強化を図る必要がある。

大豆

【きらめきの郷生産組合】

生産面積：現状(R6)1,528a 目標(R9)1,917a

生産量：現状(R6)12.0t 目標(R9)25.4t



【集出荷業者】

主な集出荷業者：JA福井県経済連



【実需者】

主な実需者：全農

年間取扱量（福井県産）：現状(R6)10.1t 目標(R9)20.3t

主な最終実需者：

非公表

※ 産地と実需者については具体的な名称を記載すること。

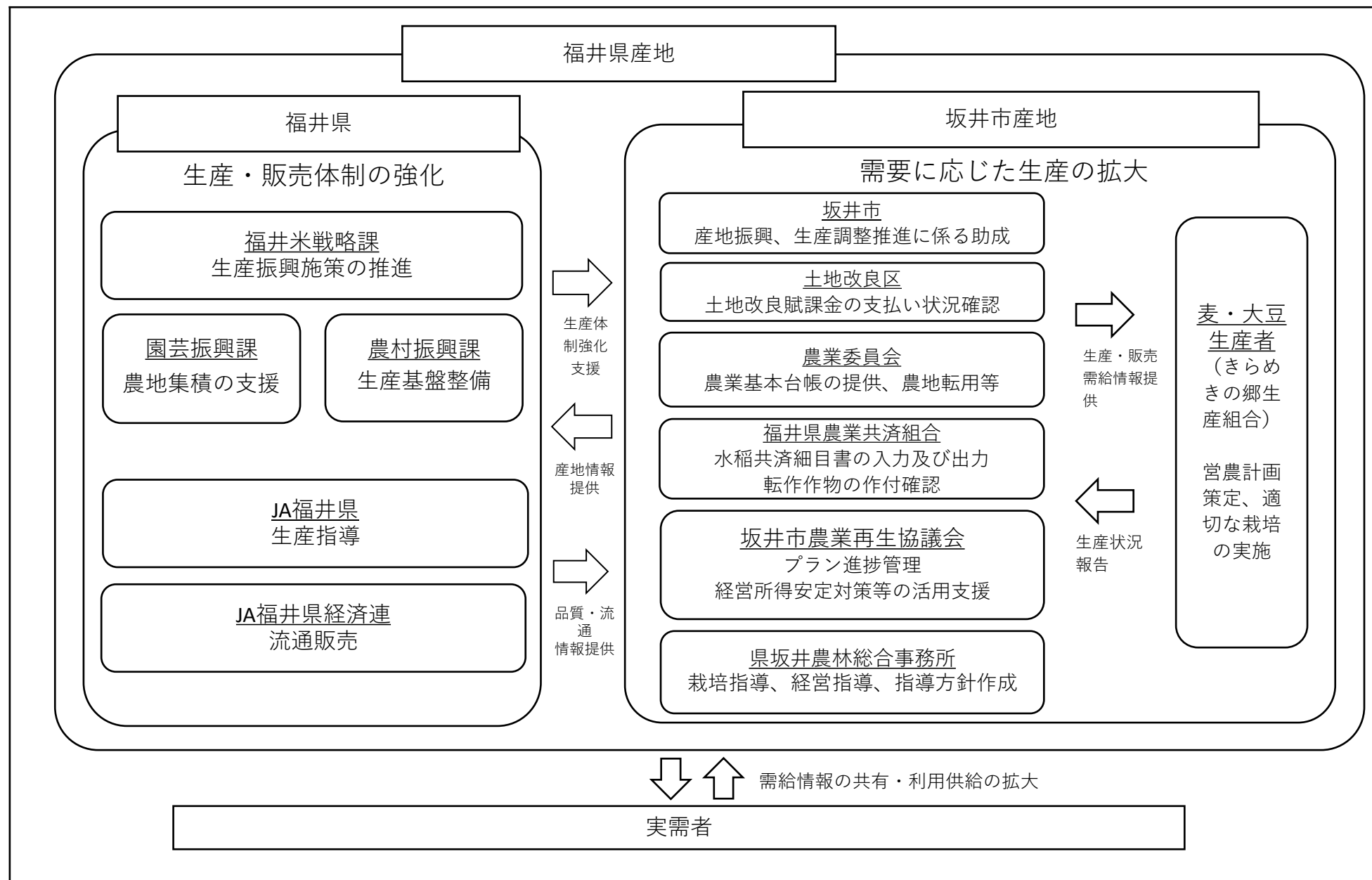
※ 麦の実需者は、麦を原料とした加工品等の製造を業とする者（製粉会社、製パン会社、製麺会社等）とする。

※ 大豆の実需者は、大豆を原料とした加工品等の製造を業とする者、大豆の販売を業とする者及びこれらの者が組織する法人その他の団体とする。

なお、販売を業とする者を実需者とする場合は、その者が販売する先（最終実需者）について、代表的な者の名称を記載すること。

※ 産地と実需者それぞれの国産麦・大豆取扱量の現状とおおむねの目標値を記載すること。

3. 麦・大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割



※ 産地と実需者との連携について、図等を用いて明示すること。

※ 取組の中心となる農業者等を必ず位置付けること。